

（株）ゼットン
代表取締役
稲本 健一
さん

対

（株）都市研究所
スぺーシア
代表取締役
井澤 知旦

談

ゼットンという名前の由来

井澤 最初にゼットンの由来は何でしょうか。
稲本 名前の由来は読んで字の如く「舌香」です。「舌で味わい喉を呑む」が起源です。また、ダブルコンセプトで、ウルトラマンに出てくる怪獣ゼットンも名前の由来です。怪獣ゼットンには「ウルトラマンを倒し怪獣で「既成概念を打ち壊す」というイメージでした。一般的な飲食店ではなく、ゼットンという新しい業態を作ろうと考えました。でも初めは周りから大反対でした。今では、分りやすいサインパッケージのある前店と違って、

フリーリングを大切に

井澤 今現在三十七店舗を開かれています。フリーリングを大切に
稲本 今現在三十七店舗を開かれています。フリーリングを大切に
井澤 今現在三十七店舗を開かれています。フリーリングを大切に



公共施設での事業展開

井澤 ヨーロッパの美術館や博物館のレストランは格式のあるものが多いですが、そこに比べて日本は大に見劣りしています。公共施設と、値段が高かろう、サービスが悪かろう、という大衆的レストランが多いのですが、ゼットンさんはそうでなく、むしろ客単価の高いレストランとして、プライダルができる高級感前面に出して、その結果、会社利益もパブリック事業が過半を占めています。パブリック事業の進出のともとの発想はなんですか。

稲本 きっかけはランの館での出店で、昔はレストランの仕事は、満腹産業、その後は満足産業、今は次の段階で、コミュニケーションのためかもしれない、食育の場の中、いくつかあるレストランの使われ方で、公共施設における心地よさを高めていくプログラムが必要であると感じてくれたのがランの館でした。官の人たちに著しく欠けていたのが「サービス精神。人に喜んでもらうという気持ち」だと思います。

井澤 パブリック事業の価値帯についてですが、客単価を高く設定されています。誰にも来させない結果を生んでいますから、

店づくりはまちづくり 社会の先端を切り開くために

井澤 名古屋と東京で店舗を展開する場、戦術上の違いはあるのでしょうか。
稲本 名古屋と東京では、街ごとに戦略は違いますが、金山とか名駅だけ、赤坂なのか日本橋なのかという違いだけで、名古屋と東京で大きく分ける感覚はあまりありません。これは海外でも同じです。井澤 そうすると、どういう街の街かというのを分析しなければなりません。稲本 自分が会った時もフリーリングを大事にして、ということ。自分も店を出そうと思った時、その街でグルグル歩きまわし、時間あれば車で行って、夜中も朝も歩きます。どんな人が生きていて、どんなのが必要かを感じる。だから、一般的なマーケティングの手法は全然使わないです。

井澤 コーポレート事業とパブリック事業がゼットンの二本柱ですが、最先端な情報や流行は東京から取り入れ名古屋に持ってきて、味や価格に敵いと言われる名古屋でのノウハウを東京に活かす。そういうイメージを持ってはいるのですが、そういう感じではないですか。
稲本 ネットもそういう時代もありました。インフラももちろんと機能、始めたのは二十年前で、欲しい情報を欲しい人がどこでも入手できる状態になっています。また、情報を取り取り非常に密になりまし

井澤 我々はオープンカフェをやっています。欧米に行ってみたら歩道にオープンカフェがあり、広場で踊ったり、音楽が流れているのが日常風景です。しかし日本では規制されている。公共施設だけでなく、公共空間も似たような縛りがある。そこから、そこを打破する一つの例として、稲本さんの取り組みが非常に面白い。公共空間の可能性を感じます。

井澤 我々はオープンカフェをやっています。欧米に行ってみたら歩道にオープンカフェがあり、広場で踊ったり、音楽が流れているのが日常風景です。しかし日本では規制されている。公共施設だけでなく、公共空間も似たような縛りがある。そこから、そこを打破する一つの例として、稲本さんの取り組みが非常に面白い。公共空間の可能性を感じます。

井澤 我々はオープンカフェをやっています。欧米に行ってみたら歩道にオープンカフェがあり、広場で踊ったり、音楽が流れているのが日常風景です。しかし日本では規制されている。公共施設だけでなく、公共空間も似たような縛りがある。そこから、そこを打破する一つの例として、稲本さんの取り組みが非常に面白い。公共空間の可能性を感じます。

井澤 我々はオープンカフェをやっています。欧米に行ってみたら歩道にオープンカフェがあり、広場で踊ったり、音楽が流れているのが日常風景です。しかし日本では規制されている。公共施設だけでなく、公共空間も似たような縛りがある。そこから、そこを打破する一つの例として、稲本さんの取り組みが非常に面白い。公共空間の可能性を感じます。

井澤 我々はオープンカフェをやっています。欧米に行ってみたら歩道にオープンカフェがあり、広場で踊ったり、音楽が流れているのが日常風景です。しかし日本では規制されている。公共施設だけでなく、公共空間も似たような縛りがある。そこから、そこを打破する一つの例として、稲本さんの取り組みが非常に面白い。公共空間の可能性を感じます。

井澤 我々はオープンカフェをやっています。欧米に行ってみたら歩道にオープンカフェがあり、広場で踊ったり、音楽が流れているのが日常風景です。しかし日本では規制されている。公共施設だけでなく、公共空間も似たような縛りがある。そこから、そこを打破する一つの例として、稲本さんの取り組みが非常に面白い。公共空間の可能性を感じます。

井澤 我々はオープンカフェをやっています。欧米に行ってみたら歩道にオープンカフェがあり、広場で踊ったり、音楽が流れているのが日常風景です。しかし日本では規制されている。公共施設だけでなく、公共空間も似たような縛りがある。そこから、そこを打破する一つの例として、稲本さんの取り組みが非常に面白い。公共空間の可能性を感じます。

井澤 我々はオープンカフェをやっています。欧米に行ってみたら歩道にオープンカフェがあり、広場で踊ったり、音楽が流れているのが日常風景です。しかし日本では規制されている。公共施設だけでなく、公共空間も似たような縛りがある。そこから、そこを打破する一つの例として、稲本さんの取り組みが非常に面白い。公共空間の可能性を感じます。

井澤 我々はオープンカフェをやっています。欧米に行ってみたら歩道にオープンカフェがあり、広場で踊ったり、音楽が流れているのが日常風景です。しかし日本では規制されている。公共施設だけでなく、公共空間も似たような縛りがある。そこから、そこを打破する一つの例として、稲本さんの取り組みが非常に面白い。公共空間の可能性を感じます。

井澤 我々はオープンカフェをやっています。欧米に行ってみたら歩道にオープンカフェがあり、広場で踊ったり、音楽が流れているのが日常風景です。しかし日本では規制されている。公共施設だけでなく、公共空間も似たような縛りがある。そこから、そこを打破する一つの例として、稲本さんの取り組みが非常に面白い。公共空間の可能性を感じます。

井澤 我々はオープンカフェをやっています。欧米に行ってみたら歩道にオープンカフェがあり、広場で踊ったり、音楽が流れているのが日常風景です。しかし日本では規制されている。公共施設だけでなく、公共空間も似たような縛りがある。そこから、そこを打破する一つの例として、稲本さんの取り組みが非常に面白い。公共空間の可能性を感じます。

井澤 我々はオープンカフェをやっています。欧米に行ってみたら歩道にオープンカフェがあり、広場で踊ったり、音楽が流れているのが日常風景です。しかし日本では規制されている。公共施設だけでなく、公共空間も似たような縛りがある。そこから、そこを打破する一つの例として、稲本さんの取り組みが非常に面白い。公共空間の可能性を感じます。

井澤 我々はオープンカフェをやっています。欧米に行ってみたら歩道にオープンカフェがあり、広場で踊ったり、音楽が流れているのが日常風景です。しかし日本では規制されている。公共施設だけでなく、公共空間も似たような縛りがある。そこから、そこを打破する一つの例として、稲本さんの取り組みが非常に面白い。公共空間の可能性を感じます。

井澤 我々はオープンカフェをやっています。欧米に行ってみたら歩道にオープンカフェがあり、広場で踊ったり、音楽が流れているのが日常風景です。しかし日本では規制されている。公共施設だけでなく、公共空間も似たような縛りがある。そこから、そこを打破する一つの例として、稲本さんの取り組みが非常に面白い。公共空間の可能性を感じます。

井澤 我々はオープンカフェをやっています。欧米に行ってみたら歩道にオープンカフェがあり、広場で踊ったり、音楽が流れているのが日常風景です。しかし日本では規制されている。公共施設だけでなく、公共空間も似たような縛りがある。そこから、そこを打破する一つの例として、稲本さんの取り組みが非常に面白い。公共空間の可能性を感じます。

井澤 我々はオープンカフェをやっています。欧米に行ってみたら歩道にオープンカフェがあり、広場で踊ったり、音楽が流れているのが日常風景です。しかし日本では規制されている。公共施設だけでなく、公共空間も似たような縛りがある。そこから、そこを打破する一つの例として、稲本さんの取り組みが非常に面白い。公共空間の可能性を感じます。

井澤 我々はオープンカフェをやっています。欧米に行ってみたら歩道にオープンカフェがあり、広場で踊ったり、音楽が流れているのが日常風景です。しかし日本では規制されている。公共施設だけでなく、公共空間も似たような縛りがある。そこから、そこを打破する一つの例として、稲本さんの取り組みが非常に面白い。公共空間の可能性を感じます。

井澤 我々はオープンカフェをやっています。欧米に行ってみたら歩道にオープンカフェがあり、広場で踊ったり、音楽が流れているのが日常風景です。しかし日本では規制されている。公共施設だけでなく、公共空間も似たような縛りがある。そこから、そこを打破する一つの例として、稲本さんの取り組みが非常に面白い。公共空間の可能性を感じます。

井澤 我々はオープンカフェをやっています。欧米に行ってみたら歩道にオープンカフェがあり、広場で踊ったり、音楽が流れているのが日常風景です。しかし日本では規制されている。公共施設だけでなく、公共空間も似たような縛りがある。そこから、そこを打破する一つの例として、稲本さんの取り組みが非常に面白い。公共空間の可能性を感じます。

井澤 我々はオープンカフェをやっています。欧米に行ってみたら歩道にオープンカフェがあり、広場で踊ったり、音楽が流れているのが日常風景です。しかし日本では規制されている。公共施設だけでなく、公共空間も似たような縛りがある。そこから、そこを打破する一つの例として、稲本さんの取り組みが非常に面白い。公共空間の可能性を感じます。

井澤 我々はオープンカフェをやっています。欧米に行ってみたら歩道にオープンカフェがあり、広場で踊ったり、音楽が流れているのが日常風景です。しかし日本では規制されている。公共施設だけでなく、公共空間も似たような縛りがある。そこから、そこを打破する一つの例として、稲本さんの取り組みが非常に面白い。公共空間の可能性を感じます。

井澤 我々はオープンカフェをやっています。欧米に行ってみたら歩道にオープンカフェがあり、広場で踊ったり、音楽が流れているのが日常風景です。しかし日本では規制されている。公共施設だけでなく、公共空間も似たような縛りがある。そこから、そこを打破する一つの例として、稲本さんの取り組みが非常に面白い。公共空間の可能性を感じます。

井澤 我々はオープンカフェをやっています。欧米に行ってみたら歩道にオープンカフェがあり、広場で踊ったり、音楽が流れているのが日常風景です。しかし日本では規制されている。公共施設だけでなく、公共空間も似たような縛りがある。そこから、そこを打破する一つの例として、稲本さんの取り組みが非常に面白い。公共空間の可能性を感じます。

井澤 我々はオープンカフェをやっています。欧米に行ってみたら歩道にオープンカフェがあり、広場で踊ったり、音楽が流れているのが日常風景です。しかし日本では規制されている。公共施設だけでなく、公共空間も似たような縛りがある。そこから、そこを打破する一つの例として、稲本さんの取り組みが非常に面白い。公共空間の可能性を感じます。

井澤 我々はオープンカフェをやっています。欧米に行ってみたら歩道にオープンカフェがあり、広場で踊ったり、音楽が流れているのが日常風景です。しかし日本では規制されている。公共施設だけでなく、公共空間も似たような縛りがある。そこから、そこを打破する一つの例として、稲本さんの取り組みが非常に面白い。公共空間の可能性を感じます。

井澤 我々はオープンカフェをやっています。欧米に行ってみたら歩道にオープンカフェがあり、広場で踊ったり、音楽が流れているのが日常風景です。しかし日本では規制されている。公共施設だけでなく、公共空間も似たような縛りがある。そこから、そこを打破する一つの例として、稲本さんの取り組みが非常に面白い。公共空間の可能性を感じます。

井澤 我々はオープンカフェをやっています。欧米に行ってみたら歩道にオープンカフェがあり、広場で踊ったり、音楽が流れているのが日常風景です。しかし日本では規制されている。公共施設だけでなく、公共空間も似たような縛りがある。そこから、そこを打破する一つの例として、稲本さんの取り組みが非常に面白い。公共空間の可能性を感じます。

井澤 我々はオープンカフェをやっています。欧米に行ってみたら歩道にオープンカフェがあり、広場で踊ったり、音楽が流れているのが日常風景です。しかし日本では規制されている。公共施設だけでなく、公共空間も似たような縛りがある。そこから、そこを打破する一つの例として、稲本さんの取り組みが非常に面白い。公共空間の可能性を感じます。

井澤 我々はオープンカフェをやっています。欧米に行ってみたら歩道にオープンカフェがあり、広場で踊ったり、音楽が流れているのが日常風景です。しかし日本では規制されている。公共施設だけでなく、公共空間も似たような縛りがある。そこから、そこを打破する一つの例として、稲本さんの取り組みが非常に面白い。公共空間の可能性を感じます。

井澤 我々はオープンカフェをやっています。欧米に行ってみたら歩道にオープンカフェがあり、広場で踊ったり、音楽が流れているのが日常風景です。しかし日本では規制されている。公共施設だけでなく、公共空間も似たような縛りがある。そこから、そこを打破する一つの例として、稲本さんの取り組みが非常に面白い。公共空間の可能性を感じます。

井澤 我々はオープンカフェをやっています。欧米に行ってみたら歩道にオープンカフェがあり、広場で踊ったり、音楽が流れているのが日常風景です。しかし日本では規制されている。公共施設だけでなく、公共空間も似たような縛りがある。そこから、そこを打破する一つの例として、稲本さんの取り組みが非常に面白い。公共空間の可能性を感じます。

井澤 我々はオープンカフェをやっています。欧米に行ってみたら歩道にオープンカフェがあり、広場で踊ったり、音楽が流れているのが日常風景です。しかし日本では規制されている。公共施設だけでなく、公共空間も似たような縛りがある。そこから、そこを打破する一つの例として、稲本さんの取り組みが非常に面白い。公共空間の可能性を感じます。

井澤 我々はオープンカフェをやっています。欧米に行ってみたら歩道にオープンカフェがあり、広場で踊ったり、音楽が流れているのが日常風景です。しかし日本では規制されている。公共施設だけでなく、公共空間も似たような縛りがある。そこから、そこを打破する一つの例として、稲本さんの取り組みが非常に面白い。公共空間の可能性を感じます。

稲本 健一 (いなもと けんいち)
株ゼットン 代表取締役
商社、デザイン事務所を経て、店舗のプロデュースを始める。1995年、株式会社ゼットン設立。名古屋・京都・東京に多種多様な空間演出による店舗を展開。レストランはメディアと自らを自称し、「名古屋めし」プログラムを全国に広げる。名古屋テレビ塔、ランの館など公共施設へも出店し、公共施設のレストランのイメージを一変させる。今後はますますレストラン出店による都市開発・再生事業を手掛けている方針。41歳



THE TOWER RESTAURANT NAGOYA
背景の写真は、名古屋のシンボルである名古屋テレビ塔。2006年6月に名古屋テレビ塔としてレストラン＆ラウンジ/ウェディングとしてオープンし、地上100Mのスカイハイメニューはメモリアルセレモニーのステージとなっている。また名古屋のまちを一望することができるレストランは、昼から夜まで移り変わる景観を楽しむことができる空間となっている。